

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語Ⅳ
科目基礎情報						
科目番号	0119		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	機械工学科 (R2年度開講分まで)		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	CLIL Seeing the World through Maps, 三修社 / Essential Grammar in Use, Cambridge					
担当教員	宮澤 泰彦, コリス・アドバンス・アセスメント					
到達目標						
①文法の基礎力を身につけ、辞書を使って英文の大意が把握できること。 ②TOEICの基本問題に対応できること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	文法の基礎力を固め、英文を正しく読み取る力を養う。また、英会話練習によって、TOEIC対策を行う。					
授業の進め方・方法	定期試験は50分間の試験を実施する。 定期試験の成績を50%, TOEICを20%、課題の成績を10%、英会話を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	予習の段階で、辞書やテキストの注を使って、英文の大意を把握して授業に臨むこと。英会話の活動を通して、リスニング力を高め、TOEICにおいてより高い得点を取れるように努力してほしい。自学自習の確認方法—レポートを定期的に提出させる。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Area 1 Europe		Sweets and the House of Habsburg, The European Union	
		2週	Area 1 Europe		Sweets and the House of Habsburg, The European Union	
		3週	Area 1 Europe		Sweets and the House of Habsburg, The European Union	
		4週	Area 2 Africa		The Masai Mara National Reserve, Souiuenir Shopping in Africa	
		5週	Area 2 Africa		The Masai Mara National Reserve, Souiuenir Shopping in Africa	
		6週	Area 3 The Middle East		Holy Places, Strategic Seaway	
		7週	Area 3 The Middle East		Holy Places, Strategic Seaway	
		8週	試験返却 Area 3 The Middle East		Holy Places, Strategic Seaway	
	2ndQ	9週	Area 4 South Africa		Mumbai and Jaipur, Afganistan	
		10週	Area 4 South Africa		Mumbai and Jaipur, Afganistan	
		11週	Area 5 Russia and Its Neighboring Countries		St. Petersburg and Peter the Great, Ukraine: Caught between Russia and Europe	
		12週	Area 5 Russia and Its Neighboring Countries		St. Petersburg and Peter the Great, Ukraine: Caught between Russia and Europe	
		13週	Area 5 Russia and Its Neighboring Countries		St. Petersburg and Peter the Great, Ukraine: Caught between Russia and Europe	
		14週	Area 6 East Asia		Super Sky Railway to Inner Highland, The Two Different Faces of Korea	
		15週	試験返却 Area 6 East Asia 前期のまとめ		Super Sky Railway to Inner Highland, The Two Different Faces of Korea	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Area 7 Southeast Asia		A Country of Cultural Diversity, Religious Diversity	
		2週	Area 7 Southeast Asia		A Country of Cultural Diversity, Religious Diversity	
		3週	Area 8 North America		Country of Immigrants, The American Dream	
		4週	Area 8 North America		Country of Immigrants, The American Dream	
		5週	Area 8 North America		Country of Immigrants, The American Dream	
		6週	Area 9 Contral America and the Caribbean		The Panama Canal, Revolution and Socialism	
		7週	Area 9 Contral America and the Caribbean		The Panama Canal, Revolution and Socialism	
		8週	試験返却 Area 10 South America		Rio de Janeiro, Japanese Immigrants	
	4thQ	9週	Area 10 South America		Rio de Janeiro, Japanese Immigrants	
		10週	Area 10 South America		Rio de Janeiro, Japanese Immigrants	
		11週	Area 11 The South Pacific and the Antarctic		The Last Unknown Place on the Earth, What Is the Antarctic like?	
		12週	Area 11 The South Pacific and the Antarctic		The Last Unknown Place on the Earth, What Is the Antarctic like?	

		13週	Area 12 Australia and New Zealand	A Continent of Modern Cities and Unique Nature, Animals and Plants Unique to Australia and New Zealand
		14週	Area 12 Australia and New Zealand	A Continent of Modern Cities and Unique Nature, Animals and Plants Unique to Australia and New Zealand
		15週	試験返却 Area 12 Australia and New Zealand 後期のまとめ	A Continent of Modern Cities and Unique Nature, Animals and Plants Unique to Australia and New Zealand
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	TOEIC	課題	英会話	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	10	20	0	0	100
基礎的能力	50	20	10	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0